

メッセージ一覧

SCPI コマンド：省略表記 (short form) のコマンド名

*RST：*RST で影響を受けるコマンドには○

R/W：クエリコマンド (R) / 設定コマンド (W)

SOURce subsystem

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
ARB:APPL				IV 特性マップを適用し出力に反映。	W
ARB:CLE				IV 特性マップを初期状態に戻す。	W
ARB:COUN	numeric	NR1	○	IV 特性マップのデータ点数を設定。	R/W
ARB:DATA	numeric	NRf	○	IV 特性マップをブロックデータ形式で設定。	R/W
ARB:MAP	numeric	NR3	○	IV 特性マップの指定した箇所の電圧値と電流値を設定。	R/W
ARB:MAP:LIST?		NR3		IV 特性マップの内容全体を問い合わせ。	R
COND	numeric	NR3	○	CR モードのコンダクタンス値を設定。	R/W
COND:EXT:FCON	bool	bool	○	CR モードの外部コントロールを有効/無効に設定。 (CURR:EXT:FCON のエイリアス)	R/W
COND:PULS:LEV	numeric	NR3	○	スイッチングのコンダクタンス値を設定。	R/W
COND:PULS:FREQ	numeric	NR3	○	スイッチングの周波数を設定。 (CURR:PULS:FREQ のエイリアス)	R/W
COND:PULS:DCYC	numeric	NR3	○	スイッチングのデューティ比を設定。 (CURR:PULS:DCYC のエイリアス)	R/W
COND:RANG	LOW MED HIGH	char	○	CR モードのレンジを設定。 (CURR:RANG のエイリアス)	R/W
COND:RESP	NORM FAST	char	○	CR モードの応答速度を設定。	R/W
CURR	numeric	NR3	○	CC モードの電流値を設定。	R/W
CURR:EXT:ACON	bool	bool	○	CC モードの外部重畳入力を有効/無効に設定。	R/W
CURR:EXT:FCON	bool	bool	○	CC モードの外部コントロールを有効/無効に設定。	R/W
CURR:PROT	numeric	NR3	○	過電流保護 (OCP) の電流値を設定。	R/W
CURR:PROT:STAT	bool	bool	○	過電流保護 (OCP) が作動したときの動作を設定。	R/W
CURR:PULS:LEV	numeric	NR3	○	スイッチングの電流値を設定。	R/W
CURR:PULS:FREQ	numeric	NR3	○	スイッチングの周波数を設定。	R/W
CURR:PULS:DCYC	numeric	NR3	○	スイッチングのデューティ比を設定。	R/W
CURR:RANG	LOW MED HIGH	char	○	CC モードのレンジを設定。	R/W
CURR:SLEW	numeric	NR3	○	スルーレート値を設定。	R/W
CURR:SST	numeric	NR3	○	電流のソフトスタート時間を設定。	R/W
FUNC	CC CR CV CP ARB	char	○	動作モードを設定。	R/W
FUNC:CVOP	bool	bool	○	+CV モードを有効または無効に設定。	R/W
POW	numeric	NR3	○	CP モードの電力値を設定。	R/W
POW:EXT:FCON	bool	bool	○	CP モードの外部コントロールを有効/無効に設定。 (CURR:EXT:FCON のエイリアス)	R/W
POW:PROT	numeric	NR3	○	過電力保護 (OPP) の電力値を設定。	R/W
POW:PROT:STAT	bool	bool	○	過電力保護 (OPP) が作動したときの動作を設定。	R/W
POW:RANG	LOW MED HIGH	char	○	CP モードのレンジを設定。 (CURR:RANG のエイリアス)	R/W

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
PROG	string	string	○	プログラムを選択/選択解除。	R/W
PROG:CRE	string			指定した名前でプログラムを新規作成。	W
PROG:CURR:PROT	numeric	NR3		選択中のプログラムに過電流保護 (OCP) の電流値を設定	R/W
PROG:CURR:PROT:STAT	bool	bool		選択中のプログラムの過電流保護 (OCP) が作動したときの動作を設定	R/W
PROG:CVOP:LEV	numeric	NR3		選択中のプログラムに +CV(CV モード追加) 適用時の電圧値を設定	R/W
PROG:DEL	string			指定した名前のプログラムを削除。	W
PROG:LIST?		string		登録されているプログラムのリストを取得。	R
PROG:LOOP	numeric	NR1		選択中のプログラムの繰り返し回数を設定。	R/W
	INF	char			
PROG:POW:PROT	numeric	NR3		選択中のプログラムに過電力保護 (OPP) の電力値を設定	R/W
PROG:POW:PROT:STAT	bool	bool		選択中のプログラムの過電力保護 (OPP) が作動したときの動作を設定	R/W
PROG:REN	string			選択中のプログラムの名称を変更。	W
PROG:SAVE				選択中のプログラムを保存。	W
PROG:STEP<n>:DWEL	numeric	NR3		選択中のプログラムの指定ステップにステップ実行時間を設定。	R/W
PROG:STEP<n>:INP	bool	bool		選択中のプログラムの指定ステップでロードオンするかどうかを設定。	R/W
PROG:STEP<n>:LEV	numeric	NR3		選択中のプログラムの指定ステップに負荷値を設定。	R/W
PROG:STEP<n>:OUTP	bool	bool		選択中のプログラムの指定ステップでロードオンするかどうかを設定。	R/W
PROG:STEP<n>:SLEW	numeric	NR3		選択中のプログラムの指定ステップにスルーレートを設定。	R/W
PROG:STEP<n>:TRAN	IMM RAMP	char		選択中のプログラムの指定ステップに設定値遷移のしかたを設定。	R/W
PROG:STEP<n>:TRIG:GEN	char	char		選択中のプログラムの指定ステップでトリガ出力するかどうかを設定。	R/W
PROG:STEP<n>:TRIG:WAIT	char	char		選択中のプログラムの指定ステップにトリガ待ちを設定。	R/W
PROG:STEPS:COUN	numeric	NR1		選択中のプログラムに登録するステップ数を設定。	R/W
PROG:VOLT:PROT:LOW	numeric	NR3		選択中のプログラムに低電圧保護 (UVP) の電圧値を設定	R/W
PROG:VOLT:PROT:STAT	bool	bool		選択中のプログラムの低電圧保護 (UVP) の有効/無効を設定	R/W
VOLT	numeric	NR3	○	CV モードの電圧値を設定。	R/W
VOLT:EXT:FCON	bool	bool		CV モードの外部コントロールを有効/無効に設定。	R/W
VOLT:PROT:LOW	numeric	NR3	○	低電圧保護 (UVP) の電圧値を設定。	R/W
VOLT:PROT:STAT	bool	bool	○	低電圧保護 (UVP) の有効/無効を設定	R/W
VOLT:RANG	LOW HIGH	char	○	CV モードのレンジを設定。	R/W
VOLT:RESP	NORM FAST	char	○	CV モードの応答速度を設定。	R/W

INPut/OUTPut subsystem

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
INP OUTP	bool[,numeric]	bool	○	ロードオン/オフを設定。ロードオン設定時のみ、ロードオンの持続時間を指定。	R/W
INP:EXT:LOG OUTP:EXT:LOG	POS NEG	char	○	外部コントロール入力の信号論理を設定。	R/W
INP:MSYN OUTP:MSYN	bool			同期接続中の PLZ-5W でロードオン/オフを同期。	W
INP:MSYN:ACC OUTP:MSYN:ACC	bool	bool	○	同期接続中の他機から入力されたロードオン/オフ同期信号 (IMP:MSYN) を受け付けるかどうかを設定。	R/W
INP:PON:STAT OUTP:PON:STAT	RST RCL0 AUTO	char		電源オン時のパネル設定状態を設定。	R/W
INP:PROT:CLE OUTP:PROT:CLE				保護状態を解除。	W
INP:PROT:WDOG OUTP:PROT:WDOG	bool	bool		ウォッチドッグ保護機能のオン/オフを設定。	R/W
INP:PROT:WDOG:DEL OUTP:PROT:WDOG:DEL	numeric	NR3		ウォッチドッグ保護機能のディレイ時間を設定。	R/W
INP:SHOR OUTP:SHOR	bool	bool	○	ショート機能の実行/解除を設定。	R/W

FETCh/READ/MEASure subsystem

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
FETC? READ? MEAS?		NR3		測定値を 1 点のみ問い合わせ。	R
FETC:CAP? READ:CAP? MEAS:CAP?		NR3		容量値 (Ah) を 1 点のみ問い合わせ。	R
FETC:CURR? READ:CURR? MEAS:CURR?		NR3		電流値 (A) を 1 点のみ問い合わせ。	R
FETC:ENER? READ:ENER? MEAS:ENER?		NR3		電力量 (Wh) を 1 点のみ問い合わせ。	R
FETC:ETIM? READ:ETIM? MEAS:ETIM?		NR3		経過時間 (s) を 1 点のみ問い合わせ。	R
FETC:POW? READ:POW? MEAS:POW?		NR3		電力値 (W) を 1 点のみ問い合わせ。	R
FETC:VOLT? READ:VOLT? MEAS:VOLT?		NR3		電圧値 (V) を 1 点のみ問い合わせ。	R

TRIGger subsystem

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
ABOR				すべてのトリガ機能を停止。	W
ABOR:ACQ				測定トリガ機能を停止。	W
ABOR:TRAN				シーケンストリガ機能を停止。	W
ABOR:PULS				スイッチング機能 (PULSe) を停止。	W
INIT:ACQ				測定トリガ待ち状態に移行。	W
INIT:TRAN:PROG				PROG で選択したプログラムでシーケンス開始トリガ待ち状態に移行。	W
INIT:PULS				スイッチング機能 (PULSe) を実行。	W
TRIG:ACQ:COUN	numeric	NR1	○	測定値の記録回数を設定。	R/W
	INF	char			
TRIG:ACQ:DEL	numeric	NR3	○	測定トリガ適用の遅延時間を設定。	R/W
TRIG:ACQ:MSYN				同期接続中の PLZ-5W で同時に測定を開始。	W
TRIG:ACQ:SOUR	char	char	○	測定トリガソースを設定。	R/W
TRIG:ACQ:INT:STAT	bool	bool	○	TRIG:ACQ:COUN が 2 以上のとき、測定間隔をあけるかどうかを設定。	R/W
TRIG:ACQ:INT:TIME	numeric	NR3	○	TRIG:ACQ:INT:STAT を ON にした場合、測定間隔の時間を設定。	R/W
TRIG:TRAN:DEL	numeric	NR3	○	シーケンストリガ適用の遅延時間を設定。	R/W
TRIG:TRAN:EXEC?		char		シーケンス機能およびスイッチング機能の実行状態を問い合わせ。	R
TRIG:TRAN:MSYN				同期接続中の PLZ-5W で同時にシーケンスを開始。	W
TRIG:TRAN:RES				一時停止中のシーケンスを再開。	W
TRIG:TRAN:SOUR	char	char	○	シーケンストリガソースを設定。	R/W
TRIG:TRAN:SUSP				実行中のシーケンスを一時停止。	W

DATA subsystem

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
DATA:BSIZ	numeric	NR1	○	データロガー機能のバッファサイズを設定。	R/W
DATA:FORM	char	char	○	データロガーにデータを照会したときの応答フォーマットを設定。	R/W
DATA:INT:GATE	NONE LOAD_ON PROG_RUN	char	○	積算演算の期間を設定。	R/W
DATA:INT:GATE:ARES	bool	bool	○	積算演算の開始時に、過去の積算を自動リセットするかどうかを設定。	R/W
DATA:INT:RES				すべての積算データ (電流容量値、電力容量値、経過時間) をリセット。	W
DATA:INT:STAR				積算演算を手動で開始。	W
DATA:INT:STOP				積算演算を手動で停止。	W
DATA:POIN?		NR1		データロガーに記録されている測定点数を問い合わせ。	R
DATA:R?		NR3		データロガーに記録されている測定データを古い順に問い合わせ。	R



SYSTEM subsystem

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
SYST:BEEP	bool	NR1		ビーブ音のオン/オフを一括設定。	R/W
SYST:BEEP:KEY	bool	bool		無効操作時のビーブ音のオン/オフ設定。	R/W
SYST:BEEP:PROT	bool	bool		プロテクション発生時のビーブ音のオン/オフ設定。	R/W
SYST:BEEP:SCPI	bool	bool		SCPI エラー発生時のビーブ音のオン/オフ設定。	R/W
SYST:COMM:RLST	LOC REM RWL	char		リモート/ローカルの設定。	R/W
SYST:CONF:DIGITAL2:DIR	INP OUTP	char		DIGITAL2 信号の入出力の方向を設定。	R/W
SYST:CONF:MSYN:IND?	bool	NR1		相互同期接続の有効/無効を問い合わせ。	R
SYST:CONF:RSEN	bool	bool		リモートセンシング機能のオン/オフ設定。	R/W
SYST:DATE	NR1	NR1		日付の設定。	R/W
SYST:ERR?		string		エラー情報読みとり。	R
SYST:ERR:COUN?		NR1		未読エラー数の問い合わせ。	R
SYST:KLOC	bool	bool		パネル操作のロック。	R/W
SYST:KLOC:LEV	1 2 3	NR1		パネル操作のロックレベルの設定。	R/W
SYST:PASS	string			パスワードで保護されたコマンドを有効にする。	W
SYST:PASS:CDIS	string			パスワードで保護されたコマンドを無効にする。	W
SYST:PASS:NEW	string			パスワードを設定する。	W
SYST:PASS:STAT?		NR1		パスワードで保護されたコマンドの有効/無効を確認する。	R
SYST:SEC:IMM				NISPOM の要件に従ってユーザデータを削除し、工場出荷時の状態に戻す。	W
SYST:SSAV	bool	bool		スクリーンセーバのオン/オフ設定。	R/W
SYST:SSAV:DEL	numeric	NR3		スクリーンセーバが起動するまでの時間を設定。	R/W
SYST:TIME	NR1	NR1		時間の設定。	R/W
SYST:TIME:ADJ				システム時計を自動調整。	W
SYST:TZON	string	string		システム時計のタイムゾーンを設定。	R/W
SYST:TZON:CAT?		string		利用可能なタイムゾーン ID をすべて問い合わせ。	R
SYST:VERS?		NRf		準拠する SCPI 仕様書のバージョン。	R

STATus subsystem

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
STAT:OPER?		NR1		OPERation ステータスレジスタ：イベント	R
STAT:OPER:COND?		NR1		OPERation ステータスレジスタ：レジスタの状態	R
STAT:OPER:ENAB	NR1	NR1		OPERation ステータスレジスタ：イネーブル	R/W
STAT:OPER:PTR	NR1	NR1		OPERation ステータスレジスタ：ポジティブトランジション	R/W
STAT:OPER:NTR	NR1	NR1		OPERation ステータスレジスタ：ネガティブトランジション	R/W
STAT:QUES?		NR1		QUEStionable ステータスレジスタ：イベント	R
STAT:QUES:COND?		NR1		QUEStionable ステータスレジスタ：レジスタの状態	R
STAT:QUES:ENAB	NR1	NR1		QUEStionable ステータスレジスタ：イネーブル	R/W
STAT:QUES:PTR	NR1	NR1		QUEStionable ステータスレジスタ：ポジティブトランジション	R/W
STAT:QUES:NTR	NR1	NR1		QUEStionable ステータスレジスタ：ネガティブトランジション	R/W
STAT:PRES				ステータスレジスタの初期設定。	W

その他の subsystem

SCPI コマンド		レスポンス	*RST	説明	R/W
プログラムヘッダ	パラメータ				
DISP:ETIM	bool	bool	○	ディスプレイに経過時間の表示を行うかどうか設定。	R/W
DISP:CAP	bool	bool	○	ディスプレイに電流容量値の表示を行うかどうか設定。	R/W
DISP:ENER	bool	bool	○	ディスプレイに電力容量値の表示を行うかどうか設定。	R/W
HCOP:SDUM:DATA?		NRf		ディスプレイのスクリーンキャプチャを取得。	R
MEM:REC	1 2 3			プリセットメモリの呼び出し。	W
MEM:SAVE	1 2 3			プリセットメモリに保存。	W
SENS:APER	numeric	NR3	○	測定時間を設定。	R/W

IEEE488.2 共通コマンド

IEEE488.2 共通コマンド	パラメータ	説明	R/W
*CLS		すべてのイベントレジスタをクリア。	W
*ESE	NR1	イベントステータスイネーブルレジスタビットを設定。	R/W
*ESR?		イベントステータスレジスタを問い合わせ。	R
*IDN?		製造業者の情報を問い合わせ。	R
*OPC		待機中のコマンド処理が完了したとき、イベントステータスレジスタに操作完了メッセージを生成。	R/W
*OPT?		PLZ-5W に装着されているオプションインターフェースを問い合わせ。	R
*PSC	bool	POWER スイッチをオンにしたとき、*ESE と *SRE を初期化するかどうかの設定。	R/W
*RCL	NR1	指定したメモリ番号からパネル設定を呼び出し。	
*RST		PLZ-5W のリセットを実行。	W
*SAV	NR1	現在の設定をメモリーに保存。	
*SRE	NR1	サービスリクエストイネーブルレジスタビットを設定。	R/W
*STB?		ステータスバイトとマスタサマリステータスビットを読み取り。	R
*TRG		トリガコマンド。	W
*TST?		自己診断の実行。	R
*WAI		待機中のすべてのコマンド処理が完了するまで、以降のコマンドやクエリを実行しない。	W